



2022. 5. 13. №1420
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 漁業用燃油等高騰緊急対策事業の交付申請受付開始！ — 6月10日まで申請受付 —

静岡県では様々な要因により長引く漁業用燃油や養殖用配合飼料等の高騰対策として、「漁業用燃油等高騰緊急対策事業」を創設し、経営がひっ迫している漁業者等を緊急的に支援することとなりました。

この事業は国の事業である「漁業経営セーフティーネット構築事業」の制度体系を活用し、第4四半期（1月から3月期）の購入数量に応じて、県が決定する単価を乗じた額の補助金を支給するものです。

この補助金を受け取るにはセーフティーネット構築事業への加入が要件となるため、既に加入しているか、令和5年度の新規加入が必要となることから、セーフティーネット構築事業の加入推進と併せ、組合員への周知をお願いします。

漁業以外に使用した分の燃油は申請対象外となるため、遊漁船業と漁業を兼業されている方が申請する場合には、購入数量の明確な区分が必要となります。

2. 第87回大漁祈願祭が挙行される — 本年も神事のみ開催 —

本会では、4月13日、三島市の三嶋大社において、第87回大漁祈願祭を挙行しました。

この祈願祭は、我が国最初の漁業法が、1901（明治34年）4月13日に誕生したのを記念し、1933（昭和8年）年に定められた水産デーの主行事として、1934（昭和9年）年から毎年（戦時中の2年を除き）吉例行事として執り行われてきました。

例年県内水産関係者出席のもと、盛大に執り行ってきた本祈願祭も、新型コロナウイルスの感染が広まって以来参加者を必要最低限とし、神事のみ執り行っています。

本年は本会役員2名、水産団体関係8名、漁協関係11名、静岡県3名、事務局4名の28名が参加し、本年の大漁と航海の安全を祈願し、本県水産業の振興発展を祈念致しました。

3. 新入生（第53期生）28人が入学 — 県立漁業高等学園 令和3年度新入生 —

県立漁業高等学園（野田浩之園長）は4月6日に新入生、保護者、漁業関係者、県担当者や学園教職員参加のもと、第53期生の入学式を執り行いました。

入学生徒は15～23歳までの28名で、県内出身者が11名、県外出身者が12都道府県から17名（東京都4名、愛知県・大阪府が各2名、北海道・岩手県・宮城県・群馬県・茨城県、神奈川県・山梨県・長野県・京都府が各1名）となっています。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

式辞で野田園長は、「漁業高等学園は設立53年目を迎えこれまでに994名が学園を巣立ち、漁業の第一線で活躍している方がたくさんいる。これから漁業後継者として必要な知識と技術、困難に打ち勝つ強い心、強い体力や仲間への思いやりを身に付けていただき、海で働くという夢に向かって、生徒諸君が大いに努力することを期待している」と述べ、続いて藪田国之後援会長（本会会長）、中野弘道焼津市長（岩ヶ谷佳史経済部水産振興課長代読）、板橋威県経済産業部水産・海洋局長が夫々祝辞や激励の言葉を述べられました。

これに応え、入学生を代表し、浅野竜太さん（宮城県・気仙沼市出身）が「規律正しい生活を心掛け、仲間と切磋琢磨しながら日々の学業に取り組み、静岡県漁業のよき後継者になるよう努力していく」と誓いの言葉を述べました。

今後新入生は全寮制で1年間、次代の県内漁業を担う幹部漁船員を目指して、漁船漁業に必要な専門知識や技術の習得に励んでいくこととなります。

4. セーフティーネット申込締切と令和3年度第4四半期の補填確定！

令和4年度の漁業経営セーフティーネット構築事業の申し込みが3月31日をもって締め切られ、申込件数・積立金額が確定しました。

令和3年度漁業経営セーフティーネット構築事業の漁業用燃油においては、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことでの、経済活動活性化による需要増と、感染者が増えることでの経済活動低迷による需要減を繰り返しながらも、徐々に原油価格が上昇したこと、また年度の後半にはロシアのウクライナ侵攻への対抗措置として、世界各国によるロシア産原油の禁輸措置等の経済制裁が発動したことによる大幅な原油価格の高騰があり、1年間を通して補填が発動することとなりました。第4四半期については、4月14日に漁安協から補填判定結果が公表され、補填単価30,760円/kℓでの補填発動が確定しましたが、今回は急騰対策補填ではなく価格差補填による補填発動となりました。

また、養殖用配合飼料においては、第1四半期は平均価格が補填発動基準を超え、補填単価1,380円/トで補填が発動したものの、第2・第3四半期は補填の発動基準を超えず、補填が発動しませんでした。第4四半期は補填単価5,140円/トで補填が発動しました。

本事業への加入は、各種水産関係補助事業の申請においての必須要件であることに加え、燃油・配合とも今後世界の情勢が不安定なため、価格上昇が予想されることから本事業への加入を推進していきます。

令和4年度の申込件数・積立金額は以下のとおりです。

<燃油> 申込件数 488件 積立金額 275,804,400円

<配合飼料> 申込件数 53件 積立金額 26,270,000円

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう